

進路だよ!

夢に向かえ

~共に歩む15の春への道~



第6号
R7.1.2.2
進路主任発行

1 2学期進路希望調査（全学年）

○あなたは将来の夢が決まっていますか。

	1年	2年	3年
決まっている	5	8	9
決まっていない	1	8	7

- (1年)建築士、動物関係の仕事、ネイリスト、スポーツ関係
(2年)動画クリエイター、トリマー、パティシエ、医療関係、保育士、音楽の先生、弁護士、プロスポーツ選手
(3年)スポーツチームや部活動のコーチ、経営者、メイクアップアーティスト、医師、看護師、モデル、ダンサー兼振付師、音楽関係の仕事、土木

○あなたが進学したい学校はどこですか。

1年生

未来工科電子科
開邦学術探究
・那覇西普通科
・キャンパス高等学
校美容科
・首里普通科

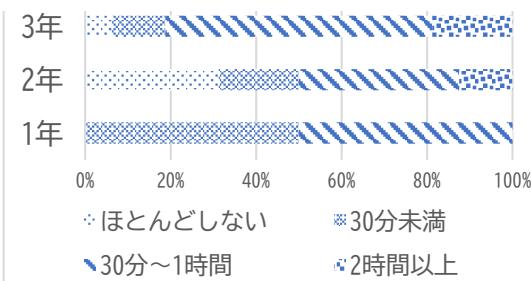
2年生

那覇西普通科、行ける高校、宜野湾スポー
ツ・健康、沖縄高専情報通信システム、琉球
調理製菓専門学校、首里普通科、沖縄工業工
業化学科、南風原郷土文化、那覇西普通、西
原、浦添商業国際観光、那覇普通科、那覇国
際普通科、那覇国際普通科、沖縄水産

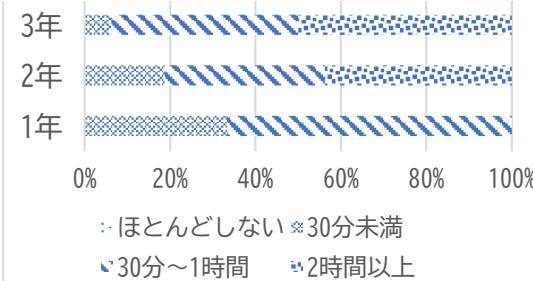
3年生

日星高校、那覇商商業科、久米島園芸科、
西原文理、中部商業生涯スポーツ、那覇
国際普通科、沖縄工業情報電子、那覇西
体育科、沖縄工業電子機械、開邦学術探
究、首里普通科、浦添普通科、南風原普
通総合、那覇西国際人文、小禄普通科

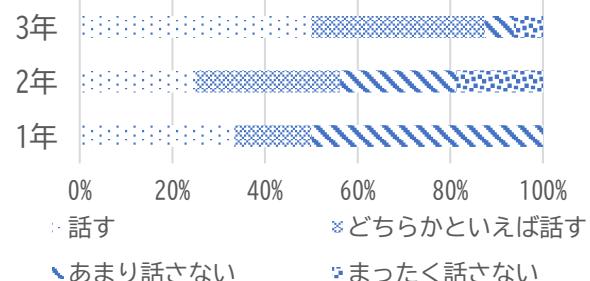
○あなたは普段、1日に何時間ぐらい勉
強しますか。(塾での学習時間を含む)



○あなたはテスト期間、1日に何時間ぐらい
勉強しますか。(塾での学習時間を含む)



○あなたは普段、進路について保護者
の方と話をしますか。



★生徒からの質問★

Q

内申点ってなんですか。

内申点とは、(中1~3)5教科の評定+(実技4教科の評定)×1.5を合計した点数です。一般入試で調査書の点数として使われることが多いです。

Q

大学に行くには高校のうちで何をし
たらいいですか。

大学進学を目指すなら、高校では基礎学力をしっかりと身につけ、計画的に勉強する習慣をつけることが大切です。部活やボランティアなどで協調性や経験を積むことも役立ちます。

Q

どこが一番高校の雰囲気がいいですか。

1~2学期にかけて、各高校でオープンスクールや学校説明会が行われますので、ぜひ興味のある高校のものに参加して、自分で雰囲気を確かめてみて

Q

希望高校と那覇の家が遠い場合はど
うしたらいいと思いますか？

通学が負担でも、どうしても行きたい高校なら挑戦する価値があります。時間やルートを工夫して無理のない計画を立て、自分の気持ちを大切にしながら決めましょう。

Q

特色選抜の条件はなんですか。

特色選抜は、昨年度からスタートした制度です。校長の推薦がなくても、自分自身で出願するか決めることができます。各高校によって、出願要件が決まっています。HPを確認してください。

Q

なぜ学校推薦から特色選抜に変わつ
たのですか。

主には、生徒の特性や個性の一層の伸長と、確かな学力の定着を図るためにされています。学校推薦とは異なり、自分で出願するかどうかを決めることができます。詳細を裏面に記載しました。

Q

高校入試は当日の点数や内申点をど
のくらい取ったら合格できますか。

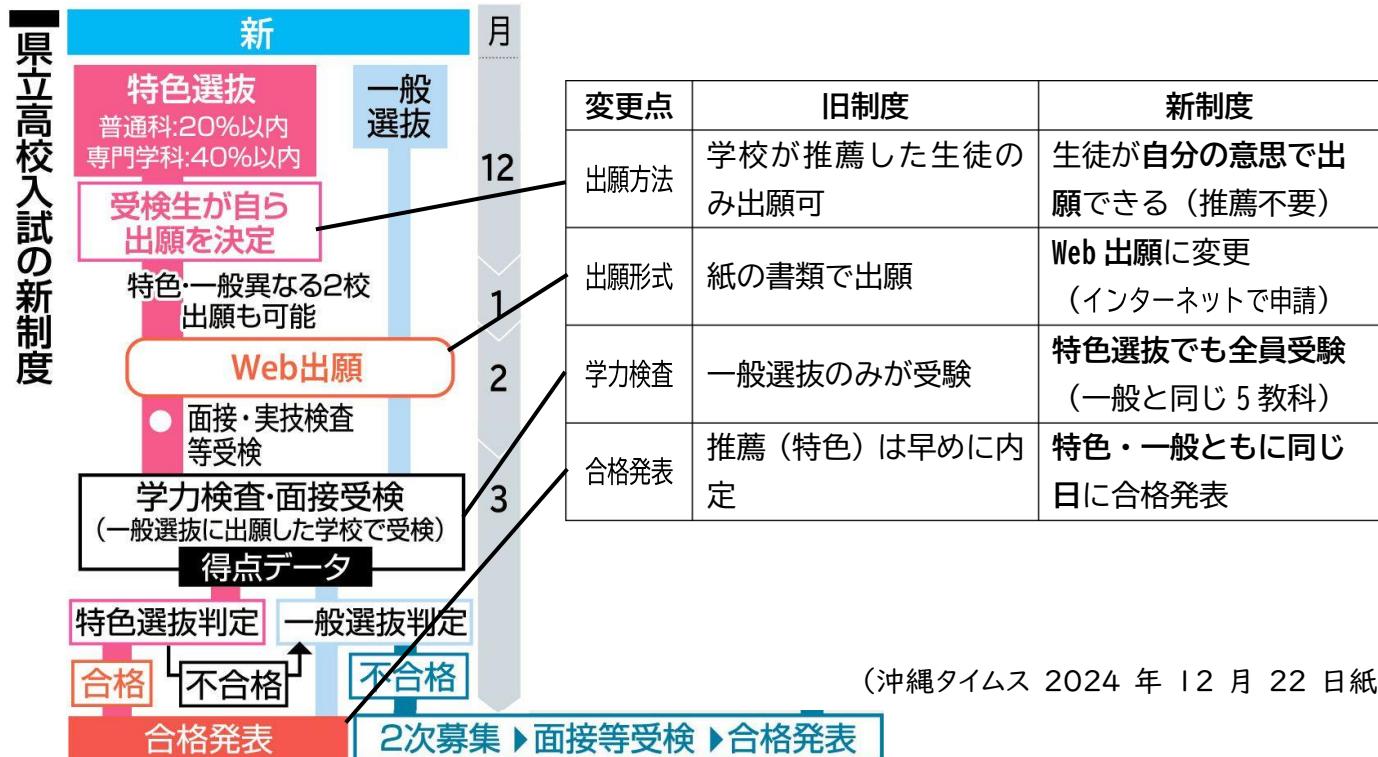
このくらいの点数を取れば、絶対に合格できるということはできませんが、昨年度の平均点等を多目的ホールに掲示しています。また、模試での点数などもデータとしてあります。詳しく知りたい方は、進路担当に声をかけてください。



高校入試まであと93日

県立高等学校入学者選抜について

昨年度より、県立高校入試が新制度となりました。主な変更点は、下記の通りです。



特色選抜、一般選抜の特徴

項目	特色選抜	一般選抜
通学区域	沖縄県全域（全県受験可）	
選抜方法	調査書+学力検査+面接試験（+独自検査）	調査書+学力検査+個人面接
学力検査	国・数・英・理・社（特色、一般ともに同じ試験） 記述式を除く各50点満点	各60点満点
検査時間	各教科50分	
技能教科の評定	1.25～1.5倍で換算する学校が多い	評定は1.5倍で換算
配点バランス	学校によって学力検査や調査書、面接等の点数が異なる。	調査書と学力検査の比重は5:5や4:6など学校により異なる
試験会場	各高校で面接等を実施（2月中旬）	交流センターで2日間実施（3月初旬）
特記事項	自ら出願できるが、出席日数や評定基準等の出願条件を満たす必要がある。 独自検査（作文、実技等）定めている学校もある。	特色選抜、一般選抜ともに不合格の場合、2次募集に出願できる。

推薦入試から特色選抜へ

★これまでの推薦入試制度の課題★

- ①：早期合格手段としての傾向が強く、本来の趣旨が活かされていない状況がみられた。
- ②：推薦内定者の中には、学習意欲が低下してしまい、義務教育段階の学力の定着に課題がみられた。
- ③：中学校によって校内推薦基準が異なるため、不公平感があった。

「特色選抜」の目的

志望学科への興味や関心及び適性を有する者を選抜するという、これまでの推薦入試の趣旨を今後も継承しつつ、生徒が主体的な学びに向かう力の育成と中学校までの基礎学力の確かな定着を図り、特性や個性の一層の伸長につながる選抜とする。